

2011年度の環境経営の取り組みをウェブサイトで公開
三菱電機グループ「環境報告 2012」のお知らせ

三菱電機株式会社は、三菱電機グループ※1の低炭素社会・循環型社会形成に向けた2011年度の環境経営の取り組みを「環境報告 2012」としてまとめましたのでお知らせします。

三菱電機オフィシャルウェブサイトから本日から公開します。

※1：三菱電機および国内関係会社114社、海外関係会社68社の合計183社が対象

「環境報告 2012」(2011年度の環境経営の取り組み)掲載 URL：
<http://www.MitsubishiElectric.co.jp/corporate/environment/>

2011年度の主な結果と今後の取り組み

1. 生産時のCO₂排出量：グループ全体で93.3万トンに抑制し、目標を達成

- ・生産性の改善と、太陽光発電システムやエネルギー使用量のリアルタイム管理機器などの創エネ・省エネ設備の導入により、グループ全体での生産時のCO₂排出量を93.3万トン（目標95.5万トン）に抑制し、目標を達成。
- ・第6次環境計画（2009年度から2011年度まで）に対しても、グループ全体で10.6万トン（目標9.5万トン）を削減し、目標を達成。
- ・第7次環境計画（2012年度から2014年度まで）では12.1万トンの削減を目指します。

＜生産時のCO₂排出量・削減量＞ (単位：万トン)

		第6次環境計画 (2009～2011年度)		2009 年度	2010 年度	2011 年度	
		目標	実績	実績	実績	目標	実績
CO ₂ 排出量	当社	51.0	50.4	47.2	50.8	51.0	50.4
	国内関係会社	19.0	16.0	16.6	19.1	19.0	16.0
	海外関係会社	26.0	26.9	21.7	26.7	25.5	26.9
	合計	96.0	93.3	85.5	96.6	95.5	93.3
CO ₂ 削減量※2 (3年計画)	当社	4.8	6.4	1.9	2.2	1.6	2.3
	国内関係会社	2.1	1.9	0.7	0.5	0.8	0.7
	海外関係会社	2.6	2.3	0.8	0.8	1.0	0.7
	合計	9.5	10.6	3.4	3.5	3.4	3.7

※2：目標としたCO₂排出量の達成に必要なCO₂削減量

2. 製品使用時のCO₂削減：平均削減率26%と、目標を達成（対象84製品）

- ・第6次環境計画（基準年：2000年度）の平均削減率目標25%を上回る26%を達成。
- ・第7次環境計画（基準年：2000年度）では平均削減率27%を目指します。

3. 廃棄物の最終処分率：国内でゼロエミッションを達成

- ・最終処分率※3は、当社単独で0.002%（目標0.1%未満）、国内関係会社で0.02%（目標0.5%未満）と、ゼロエミッション※4を達成。
- ・当社単独では8年連続、国内関係会社では2年連続でゼロエミッションを達成。
- ・海外関係会社の最終処分率は1.6%（目標3.0%未満）と、目標を達成。

※3：直接埋め立て量を総排出量で除したもの

※4：最終処分率を0.1%未満と定めた当社独自の基準

2011年度の主な結果と今後の取り組み（詳細）

1. 生産時のCO₂排出量：グループ全体で93.3万トンに抑制し、目標を達成

当社グループは、2021年を目標年とする環境経営の長期ビジョン「環境ビジョン2021」で定めた「1990年度比で生産時のCO₂排出総量30%削減」の達成に向けて取り組んでいます。

2009年度から2011年度までの第6次環境計画では、太陽光発電設備や空調・照明機器の導入や設備の高効率化・運用改善などの「ユーティリティでのCO₂削減」と、生産プロセスにおけるエネルギーのムダ取り・改善や、生産ライン・設備ごとのエネルギー使用量のリアルタイム管理^{※5}などの「生産ラインでのCO₂削減」に取り組んできました。

その結果、太陽光発電設備の導入効果を含めた「ユーティリティでのCO₂削減」で5.9万トン、「生産ラインでのCO₂削減」で4.7万トン、合計で10.6万トンを削減しました。

2012年度から開始している第7次環境計画では、2014年までの3年間で、第6次環境計画の実績10.6万トンを上回る12.1万トンの削減を目指します。

※5：当社製エネルギー計測ユニット「EcoMonitor」、省エネデータ収集サーバー「EcoServer」の導入による管理

2. 製品使用時のCO₂削減：平均削減率26%と、目標を達成（対象84製品）

製品使用時に排出するCO₂量は、生産時の40～50倍（当社試算）にもなります。そのため、製品の省エネ化を進めることは、低炭素社会の実現に大きく貢献することになります。

「環境ビジョン2021」の目標である「2000年度比で製品使用時のCO₂排出総量30%削減」の達成に向け、2010年度までに選定した84の対象製品における省エネ技術の開発と拡販を進めた結果、2011年度は平均削減率が26%（目標25%）となり、2021年度の目標30%削減の達成に向けて順調に改善しています。

第7次環境計画では、平均削減率27%を目指します。

3. 廃棄物の最終処分率：国内でゼロエミッションを達成

2011年度は、当社単独の廃棄物総排出量は8.2万トン、最終処分率は0.002%（目標0.1%未満）でした。また、国内関係会社の廃棄物排出量は6.0万トン、最終処分率は0.02%（目標0.5%未満）とゼロエミッションを達成しました。

当社では、限りある資源を有効活用するために、各生産拠点が国内関係会社も含めた近隣拠点と連携して、廃棄物処理と廃棄物管理を進めてきました。2011年度は、4つの地区（関西地区、九州地区、関東地区、中部地区）で廃棄物情報を共有して取り組んだ結果、廃プラスチック・廃油・使用済バッテリー・廃木材などの有価物化を一層推進することができました。

海外関係会社では、国や地域によって法規制や廃棄物処理事情が異なるため、生産拠点ごとに活動計画を立案する必要があります。2011年度は、海外地域会議など各社が集まる機会にゼロエミッションに向けた活動事例を共有することで、2011年度の廃棄物排出量は5.8万トン、最終処分率は1.6%となり、目標（3.0%未満）を達成しました。

第7次環境計画では、これまでに効果をあげた施策を継続し、引き続き国内外で「最終処分率0.1%未満」を目標として取り組んでいきます。

お客様からのお問い合わせ先

三菱電機株式会社 環境推進本部 企画グループ
TEL 03-3218-9024
E-Mail : eqd.eco@pj.MitsubishiElectric.co.jp